SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.
CORPORATE PROFILE
会社案内

双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

SOSHIN WAY

コミュニケーションの輪でつなぐ人と未来

わたしたちの使命

双信電機グループは双互信頼の精神を尊重し、
お客様に感動を与える電子部品の提供を通して世界中の人・企業・国をつなぐ
”輪”を作り、社会の発展と人々の暮らしに貢献します。

共有する価値観

1. わたしたちは、〈顧客第一主義〉でお客様との双互信頼の”輪”を広げます。
2. わたしたちは、〈人間性尊重〉で会社・組織・個人・家族の双互信頼の”和”を大切にします。
3. わたしたちは、〈良き企業市民〉として地域社会を双互信頼の”話”で元気にします。
4. わたしたちは、〈環境共生社会の実現〉に向けて地球と人との調和を双互信頼の”環”で守ります。
5. わたしたちは、〈公平かつ公正な調達活動〉で取引先との双互信頼の”輪”を築きます。
6. わたしたちは、〈変革と成長へのチャレンジ〉を続け、株主・投資家の期待に双互信頼の”輪”で応えます。

わたしたちの未来像

個人と組織が変革と成長を続け、世界中のお客様から最も信頼される
”顧客対話型”の電子部品メーカーとなることです。

ノイズの無い世界を作る

TOPメッセージ

1938年に創業した双信電機は、コンデンサ、フィルタ、回路部品等の製造を手がける大手サプライヤーです。当社の製品は、人々の暮らしに密着した様々な分野で活躍しています。電力インフラや産業機器、数多くの個人の端末機器に至るまで、当社の製品は人々の暮らしの向上と社会の発展に貢献してまいりました。このような理由から、当社は次の企業理念を掲げています。

コミュニケーションの輪で人と未来をつなぐ

ノイズの無い世界を作る

その手段として、当社はコミュニケーションを通じて、より効率的な電気エネルギー伝送を可能にする技術を提供しています。長年培ってきた材料科学や設計技術を活かした当社の製品により、世界中のお客様が機器の大容量化、高周波化、小型化を実現する可能性を広げています。こうした通信技術の進歩は、カーボンフットプリント削減に向けた世界的な取り組みに大きく貢献しています。

2024年以降、当社は台湾のPassive System Alliance グループ（PSAグループ）と戦略的統合をさらに進めてまいりました。PSAグループが持つ徹底した顧客エンゲージメント力と卓越したグローバルネットワークを生かし、世界中の様々な地域に事業を拡大し、多くのお客様と触れ合うことで、「ノイズの無い世界を作る」という当社の使命を果たすことが可能になりました。お客様のニーズに応えるため、電子産業と足並みを揃えてともに成長・発展し、世界的な企業を目指してまいります。

双信電機株式会社
代表取締役社長

私たちの製品はさまざまな機器の中で、 皆さんの暮らしと豊かな社会を支えています。

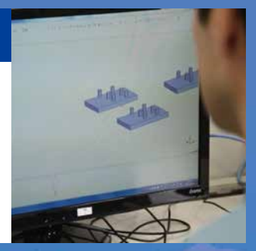
私たち　の強み

材料・プロセス開発技術

素材の力を最大限に生かすための材料開発と、独自に開発した印刷・焼成技術などのプロセス開発技術を融合させ、材料から製品までの一貫生産体制を構築

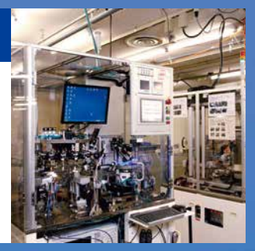
回路設計技術

長年培ってきた高周波回路設計技術とフィルタ設計技術で、お客様が要求する厳しい特性と品質に対応



設備開発技術

長年の設備設計のノウハウをベースに、設計段階から設備の剛性・耐久性をシミュレーションするシステムを導入し、最適な設備開発を実施



高度なノイズ測定技術とノイズフィルタ設計技術

ノイズ測定結果に基づく最適なノイズフィルタの提案や、お客様の要望に合わせた専用設計にも対応し、ノイズ対策の総合支援体制を構築

こんなところ　に「双信電機」

鉄道に「LCフィルタ」

医療機器に「ノイズフィルタ」

自動車に「厚膜印刷基盤」

通信基地局に「カプラ」

通信機器に「積層誘電体フィルタ」

宇宙・産業機器に「マイカコンデンサ」

双信電機の歩み

マイカコンデンサの専業メーカーとして創業して以来、独自の技術による特長ある電子部品を提供し続けてきました。

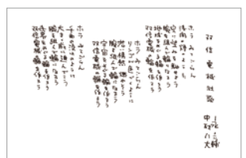
創業期

マイカコンデンサの専業メーカーとして創業

1938

“双信電機の輪を作ろう”社歌の制定

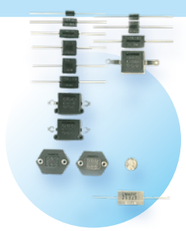
1963



転換期

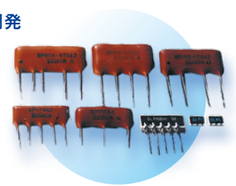
海底中継器用シルバードマイカコンデンサの開発

1957



独創的な新製品プリントフィルタの開発

1973



成長期

大電流・高電圧ノイズフィルタを業界に先駆けて開発

1984

自社開発の誘電体材料と磁性体材料を同時焼成した小型フィルタの開発

2009

大手セラミックメーカーとの共同開発による積層誘電体フィルタを開発

1993

釜屋電機株式会社が親会社となる

2024

PSA 釜屋電機株式會社 KAMAYA ELECTRIC CO., LTD.

WALSIN TECHNOLOGY CORPORATIONが親会社となりPSAグループに加入

2021

PSA PASSIVE SYSTEM ALLIANCE

双信電機の事業

高機能電子部品で社会の　発展と人々の暮らしに貢献

私たちは「材料・プロセス開発技術」「回路設計技術」「設備開発技術」をコア技術として、各種フィルタ、コンデンサなどの電子部品を開発し、パワーエレクトロニクス事業、情報通信事業、LTCC事業を中心に、お客様のニーズに合わせたカスタム製品を提供しています。

ノイズフィルタ

用途：産業用機械、医療機器など
インバータを用いた製造設備や電化製品の稼働時に発生する電気的な雑音（ノイズ）を取り除き、装置の誤作動を防止するために使用されます。

フィルムコンデンサ

用途：産業用電源、インバータ装置など
高絶縁性、高信頼性であり、損失や静電容量の温度変化が小さいなどの特徴があります。

パワーエレクトロニクス事業

ノイズ測定診断車

電波暗室に持ち込むことができない大型の設備、機器などについては出張試験を行っています。

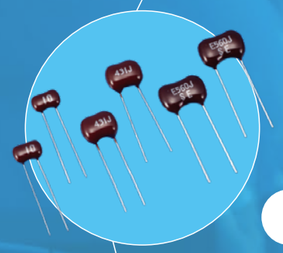
浅間テストラボ

浅間工場の10m法大型電波暗室で高精度な試験を行い、ノイズ測定やその対策支援を行っています。

半導体製造装置や工作機械などの産業用機械、医療機器（MRI、CTなど）、鉄道などの市場に、これらの機器などから発生する電磁波ノイズ対策用製品としてノイズフィルタ、およびコンデンサなどを開発・製造し販売しています。

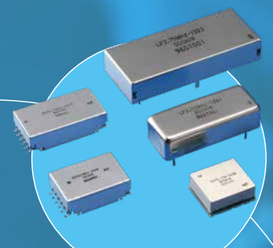
さまざまな産業機器の省エネルギーに欠かせないインバータなどから発生する電磁波ノイズは、電波障害や他の機器の誤作動の原因になります。こうした問題のトータルソリューション事業として、電磁波ノイズの発生源や発生経路を特定するためのノイズ測定・診断を行い、さらに電磁波ノイズの発生や影響を防ぐノイズフィルタの開発、供給により、お客様の電磁波ノイズ問題を解決する事業を展開しています。

双信電機の浅間工場（長野県佐久市）には、「浅間テストラボ」を有し、お客様の機器などから発生する電磁波ノイズを高精度に測定することができます。電波暗室に持ち込めない大型の設備、機器などについては、国内2か所に導入している「ノイズ測定診断車」による出張試験（オンサイトテスト）を行うなどフレキシブルな対応を行っています。



マイカコンデンサ

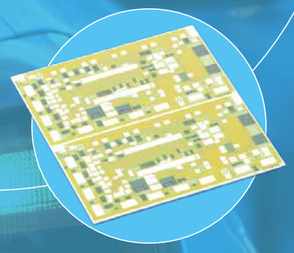
用途：人工衛星、業務用無線機など
天然鉱物を使用しているため非常に優れた性能と高い安定性を有しており、様々な分野で使用されています。



LCフィルタ

用途：鉄道など
通信を行う際に特定の周波数の信号を送受信するために使用されます。

情報通　信事業



厚膜印刷基板

用途：リチウムイオン電池、自動車など
高信頼性と耐熱性とを求められる電子機器に使用されます。
主な用途はヒューズ用と車載用の2種類があります。

自動車電装部品や通信インフラ部品、電源回路、空調機器、照明機器などに搭載される厚膜印刷基板と、通信、放送映像機器、宇宙、防衛、鉄道信号や半導体製造装置などの市場に向けて各種フィルタやマイカコンデンサなどを製造し販売しています。

情報通信事業の主力製品である厚膜印刷基板は、双信電機独自の印刷多層技術や焼成技術を活用し、耐熱性に優れたアルミナ基板と各種材料システムを組み合わせることで、高信頼性のニーズに対応しています。LC フィルタや半同軸誘電体フィルタは、お客様のニーズに合わせたカスタム仕様を提案・実現し、信頼性の高い製品を提供することで社会インフラ市場に貢献しています。また、マイカコンデンサも耐熱性や高周波特性に優れる事から、高信頼性が求められる市場で創業時からご愛顧いただいています。

積層誘電体フィルタ

用途：無線LAN機器など
携帯電話、パソコン等の通信を行う際に必要な周波数の電気信号だけを送受信するために使用されます。

LTCC事業

カプラ

用途：通信基地局など
携帯電話の基地局内部の送受信回路で電気信号を合成したり分配したりするために使用されます。

スマートフォンやパソコンなどに搭載される無線LANやブルートゥース通信モジュール、モバイル機器をつなぐ通信基地局、パソコン市場などに高周波部品の積層誘電体フィルタやカプラを開発・製造し販売しています。独自のプロセス開発技術と高周波回路設計技術を融合させることで、とどまることなく進化を続ける移動体通信システムと情報通信機器の小型化・高性能化に貢献しています。

近年では無線LAN新規格向け製品や高速かつ大容量通信を実現できる5G通信基地局に対応する製品を展開し、機器の小型軽量化や高画質な映像の伝送という情報通信の革新を支える高機能電子部品を世の中に送り出しています。

LTCC事業は、2024年より親会社であるWALSIN TECHNOLOGY CORPORATIONとの一体運営体制となりました。開発・製造、販売の相乗効果により、今まで以上に幅広いニーズとお客様の期待に応える製品を展開していきます。

高い自社開発力

双信電機が培ってきた材料・プロセス開発技術、回路設計技術、設備開発技術。
これらの独自技術によって、お客様のニーズを捉えた高機能・高品質な製品開発を実現しています。

材料・プロセス開発技術

製品を作るために必要なセラミック、フィルム材料などの開発や解析、最適な製造プロセス、工法の開発を行います。セラミックやマイカ、プラスチックフィルムなどの素材の力を最大限に生かすための利用方法の検討や、製造工程を俯瞰して製品の安定供給を実現するために、基礎設計が完了した開発品を実際の製品形態に仕上げ、特性や品質の検証などを実施しています。

回路設計技術

各種フィルタ、コンデンサなどの製品について、お客様のご要望が多種多様である中、長年培ってきた高周波回路設計技術とフィルタ設計技術で、お客様の求める厳しい特性と品質に応える新製品の開発・設計を行っています。

設備開発技術

生産工程での高い品質保証と効率の良い生産を実現するために、長年の設備設計のノウハウをベースに、設計段階から設備の剛性・耐久性をシミュレーションするシステムを導入。それぞれの製品に合わせた最適な設備開発を自社で行っています。

国内外拠点

国内と海外に広がるワールドワイドネットワーク。
国内外に生産または営業拠点を展開し、国際的な規模で製品の供給体制を整えています。

本社

1 本社

事業所

2 浅間工場

3 千曲工場

グループ会社

4 立信電子株式会社

5 双信パワーテック株式会社

6 双信デバイス株式会社

海外拠点

8 双信華科技（深圳）有限公司 Soshin Electronics (SZ) Limited
9 双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ Soshin Electronics of America Inc.

7 双信エレクトロニクスマレーシア
Soshin Electronics (M) Sdn. Bhd.

企業行動指針

目的

PSAグループの一員である双信電機及び双信電機グループ各社が健全な事業運営を実施していくにあたり、私たちが常に自らの行動をこの指針に照らして見つめ直し、誠実で責任ある行動をすることを目的にこの方針を制定します。
（PSAグループとは、親会社であるWALSIN TECHNOLOGY CORPORATIONを中心とした様々な企業グループの総称であり、双信電機グループも含まれます。）

I　PSA企業理念

・誠実を第一に取り組みます / Integrity First
・お客様をパートナーと考えます / Treat Customers as Partners
・品質と事業に注力することを最優先事項とします / Focus and Quality as Top Priority
・事業をグローバルに展開し拡大していきます / Globalization
・事業の安定化と人材育成を図ります / Stabilization and Talent Development
・株主と従業員を守り、企業の社会的責任を重視します / Value Key Stakeholders
・グループ内の各企業と協同します / Collaboration

II　SOSHIN WAYの実現

“ わたしたちの使命 ”
双信電機グループは双互信頼の精神を尊重し、お客様に感動を与える電子部品の提供を通して世界中の人・企業・国をつなぐ"輪"を作り、社会の発展と人々の暮らしに貢献します。

III 企業活動のありかた

①企業情報の開示
経営の透明性を高め双信電機グループに対する社会の信頼を得るために、経営情報、財務情報、商品・サービスに関する情報など、広く社会が求める情報を正確かつタイムリーに発信します。

②コンプライアンスの徹底、リスクマネジメント
各国、地域の法令やルールを守り国際間の取決めを尊重して、コンプライアンスを徹底します。誠実で高い倫理観のある人材を育成します。また、内部統制システムの構築とリスクマネジメントの実践を通じて、会社の資産や信用、第三者の権利を守ります。

③人間性の尊重、快適な職場環境の確保
人材の採用、処遇は公正・公平に行い、安全・快適で家庭と両立する働きやすい職場環境を提供します。多様な人材が挑戦できる場と機会を設け、知識や技術の習得を通じて人材の成長を支援します。職場におけるいじめ、差別、ハラスメントなど人権に反する行為の発生を防止し、違反行為があった場合には迅速に適切な対応をとります。

④公正、自由、透明な取引の実践
対等な良きパートナーとして取引先との共存共栄を目指し、公正、自由、透明な取引を行います。また、双信電機グループのサプライチェーン全体で企業の社会的責任を果たす取り組みを推進します。

IV 社会の一員として

①地球環境の保全
事業活動を行うすべての拠点、すべてのプロセスで、率先して環境負荷の低減に取り組み、地球環境の保全に貢献します。
地域の環境保全活動に協力し、従業員が取り組む活動も積極的に支援していきます。

②地域社会との協調、社会貢献活動の推進
各国、地域の社会的課題に関心をもち、地域に信頼される企業市民であることを目指して、地域のニーズに応じた社会貢献活動に積極的に取り組みます。

③ステークホルダーとのコミュニケーション
お客様、取引先、株主、従業員、地域社会の方々など、すべてのステークホルダーとの対話を通じて双信電機グループへの理解を広げるとともに、寄せられた意見に基づいて会社の活動をレビューし、社会的責任を果たすための取り組みに活かしていきます。

SOSHIN

双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

2025.5 06

01

Company Guide

SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

- Company Outline
- Our Business
- Directors

会社概要

商　　号	双信電機株式会社（英文社名　SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.）
U　R　L	https://www.soshin.co.jp
創　　業	1938年（昭和13年）12月7日
設　　立	1944年（昭和19年）4月27日
資 本 金	3億1百万円
売 上 高	95億92百万円（連結）／2024年12月期
従 業 員	763名（連結）、390名（単独）／2024年12月期
認証・認定	ISO9001、ISO14001、ISO45001、EN ISO／IEC 17025、 IATF16949（双信デバイス（株））、米国UL、カナダ規格協会CSA
決 算 期	12月31日
株　　主	釜屋電機株式会社（100%出資）
取引銀行	三菱UFJ銀行、みずほ銀行、りそな銀行、三井住友信託銀行、八十二銀行

事業内容

各種フィルタ及びコンデンサなど電子部品の設計開発、製造、販売

パワーエレクトロニクス事業

- 産業用機械、医療機器向けなどのノイズフィルタ
- 産業用機械、鉄道向けなどのフィルムコンデンサ
- 大型電波暗室や移動診断車によるノイズ測定サービス

情報通信事業

- 鉄道信号、宇宙防衛向けのLCフィルタ、半同軸誘電体フィルタ
- 半導体製造装置、無線通信向けのマイカコンデンサ
- 車載電装、リチウムイオン電池保護向けの厚膜印刷基板

LTCC事業

- Wi-Fi、通信基地局、車載通信向けの積層誘電体フィルタ、カプラ

役 員

代表取締役会長	曾　明燦
代表取締役社長	陳　怡光
取締役	中西　港二
監査役	陳　明清

SOSHIN

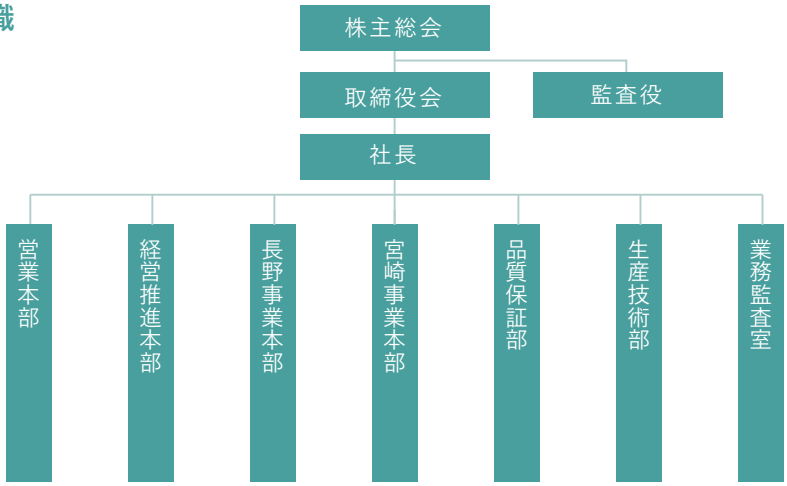
02

Company Guide

SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

- Organization
- History

組 織



沿 革

1938年	12月	双信電機製作所を創業し、マイカコンデンサの製造販売を開始
1944年	4月	株式会社に改組し、双信電機株式会社と改称
1969年	12月	宮崎双信電機株式会社を設立し、プラスチックフィルムコンデンサの開発、生産を拡充
1982年	7月	長野県佐久市に千曲工場を新設、ハイブリッドICの本格的生産を開始
1984年	4月	電磁波対策用のEMIフィルタを開発、製造販売を開始
1985年	12月	長野県佐久市に浅間工場を新設
1989年	10月	双信エレクトロニクスマレーシアを設立
1991年	9月	日本ガイシ株式会社が筆頭株主となり、協業を開始
1993年	3月	電波暗室「浅間テストラボ」を開設し、ノイズ測定診断・対策業務の受託を開始
	12月	積層誘電体フィルタの製造販売を開始
1996年	7月	双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ株式会社を設立
2002年	11月	東京証券取引所市場第一部上場
2009年	4月	宮崎県宮崎市に双信デバイス株式会社を設立
2010年	4月	宮崎県都城市に双信パワーテック株式会社を設立
	4月	中国市場での販売拡大のため、双信華科技（深圳）有限公司を設立
2016年	4月	ノイズフィルタコイル製造メーカーの株式会社ウエノと資本業務提携
2021年	1月	WALSIN TECHNOLOGY CORPORATIONのグループ会社となり、協業を開始
2024年	7月	釜屋電機株式会社による完全子会社化に伴い、東京証券取引所の上場廃止

SOSHIN

03

Company Guide

SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

● Headquarters/
Business Location

事業所所在地

国内ネットワーク

本社

〒105-0004　東京都港区新橋5-1-9
銀泉新橋第2ビル 6F

営業拠点

本社 営業部門
〒105-0004　東京都港区新橋5-1-9
銀泉新橋第2ビル 6F
電話:03-5730-8001 FAX:03-5730-8009

大阪営業所
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-45
新大阪八千代ビル 7F
電話:06-6396-7701 FAX:06-6396-7838

製造拠点

浅間工場
〒385-0021 長野県佐久市長土呂800-38

千曲工場
〒385-0011 長野県佐久市猿久保664-1

双信パワーテック株式会社
〒889-1802 宮崎県都城市山之口町花木2333-7
電話:0986-57-2141 FAX:0986-57-2810

双信デバイス株式会社
〒880-2214 宮崎県宮崎市高岡町小山田13-4
電話:0985-82-4261 FAX:0985-82-4269

立信電子株式会社
〒384-0083 長野県小諸市大字市871-8
電話:0267-22-8881 FAX:0267-22-8887

海外ネットワーク

双信エレクトロニクス マレーシア
Soshin Electronics (M) Sdn. Bhd.
Lot 14, Batu Berendam FTZ. Phase 3, Batu
Berendam 75350, Malacca, Malaysia
TEL: 60-6-284-8501 / FAX: 60-6-284-1946

双信エレクトロニクス・オブ・アメリカ
Soshin Electronics of America Inc.
3001 Winchester Blvd., Suite 14,
Campbell, CA 95008 USA
TEL: 1-408-748-6928 / FAX: 1-408-748-69

双信華科技(深圳)有限公司
本社兼営業所
深圳市龙岗区园山街道银盛路18号综合大夏一层108号
No.108, 1st Floor, Complex Building, No.18 Yinsheng Road,
Yanshan Street, Longgang District, Shenzhen,
Guangdong, China
TEL: 86-755-2850-7024

東莞分公司
広東省東莞市石龍鎮広源路93号半島商務中心302B
302B, Ban Dao Business Centre,
No.93 Guangyuan Road, Shilong Town,
Dongguan, Guangdong, China
TEL: 86-769-8127-3396

SOSHIN

04

Company Guide

SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

● Environmental Policy

環境方針

双信電機グループ 環境方針

1.法令・協定・顧客との取り決めおよび自主基準を順守する。
2.環境目標を設定し、組織的・継続的な環境負荷低減活動を地域社会とともに推進する。
3.環境に配慮した製品の開発・設計・製造販売を行う。
4.環境汚染の予防処置と監視を行う。
5.教育・啓発活動を進め、従業員および事業に関わる人々すべての役割・責任についての自覚高揚を図る。

環境保全活動の推進体制

環境保全に関する双信電機グループの方針・施策は、環境管理担当役員を委員長とする「環境委員会」で決定します。ここで決定した方針・施策は、各サイトの拠点長、環境管理責任者を通じて全社に展開されます。
環境組織の活動として、半期ごとに開催される環境委員会の他、環境会議を毎月開催し、CO_2排出量や産業廃棄物排出量などの目標に対する予実管理のほか環境に関する情報交換などを行い、環境保全活動を継続的に推進しています。

SDGs:持続可能な開発目標への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。
双信電機グループが対応し得る14項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

具体的な活動は弊社ホームページ掲載の社会・環境レポートでご確認いただけます。

SOSHIN